



写真8 Rail Magazine

8月発売予定

**N 10-1369**  
**HB-E300系**  
**「リゾートあすなろ」**  
2両セット  
予価 ¥8,900+税

# 短さを、楽しむ。

4月  
2018年

**HB-E300系「あすなろ」がついに登場！**  
**現役のHB-E300系各車がKATOで揃っ！**

ステンレスボディに色鮮やかな暖色で彩られ、華やかな印象を覚える観光列車、「リゾートあすなろ」は、主に東北地域で活躍しているHB-E300系だ。平成22年(2010)の東北新幹線の新青森駅の開業に合わせて運転を開始した車両で、主に「リゾートあすなろ下北」「リゾートあすなろ竜飛」として活躍している。

この車両、他のHB-E300系同様にJR東日本のハイブリッドリゾートトレインだが、他の3両がそれぞれ1編成のみなのに対し、この車両は同じ車両が2編成存在する。同日に2編成が別々の運転を行ったりするほか、青森〜新青森間の回送時には併結して走ったりと、ここならではのHB-E300系の姿を見ることが出来る。

また、この車両は特別列車として活躍することが多々あり、過去には男鹿線や山田線への入線実績もある。模型で楽しむ際には、一緒に並べて楽しめる車両が多いのがポイントだ。

今回の「リゾートあすなろ」の登場で、JR東日本管内を活躍しているHB-E300系は一通り出揃った。各車両ともリゾートトレインならではの色彩豊かな車体の模様は、コレクションとして並べるだけでも目を惹きつけてくれる。いずれも2〜4両編成の短編成で構成された車両なので、お手頃な値段段でお買い求めいただけるほか、レイアウトの大きさを問わず走る姿が様になる。レンタルレイアウトのような大規模なものから、スターターセットのようなエンドレスレイアウト、はたまたまた机上に載せられるようなエンド式のレイアウトまで、運転を楽しむことができる。車両が連なる長大編成の魅力は言うまでもないが、こういった車両を単線で運転するのにもまた乙なものだ。様々なレイアウトの上で、自分の鉄道模型の世界を広げていっていただきたい。

また、4月にはサウンドカード〈HB-E300系〉も登場する。ハイブリッド気動車の、電車と気動車の要素を併せ持つ走行音を耳で楽しみながら、HB-E300系を運転できる。「リゾートしらかみ」(樺編成)の発売と「リゾートあすなろ」製品化のこの時期に、お買い求めいただけて是非、リアルな音と動きを体験していただきたい。

車両の運転を音でもっと楽しく。  
**SOUND BOX**  
22-101  
サウンドボックス  
¥25,000+税

22-204-6 **4月発売予定**  
サウンドカード  
〈HB-E300系〉  
予価 ¥2,900+税

サンプル音源の  
試聴はこちら



10-1463 ¥13,500+税  
HB-E300系「リゾートしらかみ」(樺編成)

10-1367 ¥13,500+税  
HB-E300系「リゾートしらかみ」(青池編成)

10-1368 ¥8,600+税  
HB-E300系「リゾートビューふるさと」

好評発売中!



## 窓の大きいHB-E300系ならではの楽しみ方 —車内を充実させる—



11-211 ¥720+税  
LED 室内灯クリア

11-212 ¥3,600+税  
LED 室内灯クリア  
(6両分入)



24-205,206,224,225 座っている乗客 各種 (写真は24-205)  
24-205,206 各¥1,200+税 24-224,225 各¥1,000+税



24-271 運転士/車掌 (冬服・ダークブルー) ¥950+税

リゾートトレインということもあり、全車両の窓が大きく、眺めがよいのがHB-E300系の大きな特徴である。これは逆に言うと、外からも車内の様子がよく見えるということだ。実際上の模型の写真を見てもらえば分かるように、運転席、車内の座席、また車内の空間がよく見渡すことができる。鉄道模型のディテールアップの一つである「車内の充実」の効果が他の車両以上によくあらわれるのがこの模型の一つのポイントだ。室内灯で明かりを灯し、運転士や乗客を乗せ観光列車の車内の賑わいを再現すると、リアリティがぐっと深まる。普段模型の車内には手をつけない方も、この機会に一度挑戦してみたいだろうか。



10-1228 ¥8,000+税  
鹿島臨海鉄道 6000 形  
2両セット

10-1229 ¥8,000+税  
鹿島臨海鉄道 6000 形  
(新塗装) 2両セット

茨城県水戸～鹿島神宮で運行される単線の私鉄。元々は貨物輸送を担っていた路線を旅客化した。単行から3両編成での運転が見られる。赤を基調とした車体塗装はのどかな田畑の中や、海辺など、変化のある景色の中でよく映える。



**続々登場！  
各地で活躍する短い車両たち**

地方に行くと、単行や2両の短い編成で活躍する車両たちを見ることが出来る。地域の足として、また観光客を乗せて活躍する彼らの姿は、車両こそ新しいものの、昔から変わらないのどかなローカル線での一場面だ。地域の景色に溶けこみ、生活を支える歯車の一つとして機能する。地方都市の一角、広がる田園風景、雄大な山々や海辺の中を、レールのジョイント音を刻みながら走っていく短編成の車両には、そこに息づく人々のドラマが詰まっている。

情緒と愛嬌のあふれる彼らの趣を、鉄道模型を通して感じてみるのもいかがだろうか。短編成で完結するので、比較のお求めやすくもあり、模型としてみると初心者の方にもお勧めできる。コレクションとして手を広げていく際も、集めやすい上、展示にも場所を取らない。

例えばちよつとしたエンドレスのレイアウトと駅を組み合わせたような小さなレイアウトでも、窮屈なくリアルな運転が楽しめる。半径が少々きつめの曲線も、ローカル線ならではの演出だ。長編成の車両が行き交うような大きなレイアウトの中でも、幹線と枝線が平行する風景、普通列車と特急列車のすれ違いを楽しめる。多くの列車が行き交う中でよいアクセントになるだろう。ゆくゆくは手を広げて、沿線の風景を切り取ったような小さなジオラマも視野に入れながらも、まずは車両ひとつと楕円のレイアウトから。鉄道模型の楽しみを、深めていただければと思う。

10-1437 ¥9,300+税  
あいの風とやま鉄道 521 系  
2両セット

北陸本線の倶利伽羅～市振間で第3セクター化された路線。爽やかなカラーリングが特徴。倶利伽羅山から富山の町中や海辺の北陸地域ならではの風景が沿線に広がる。



※画像は試作品になります。

10-1395 ¥9,000+税  
521 系(2次車) 2両セット

北陸本線の普通列車として活躍中。ラッシュ時には併結して4、6両での運転もある。敦賀から深い山々を抜け、日本海の傍を通りながら金沢を目指す。一面真っ白な雪景色にも似合う車両。サンダーバードとの共演も楽しめる。



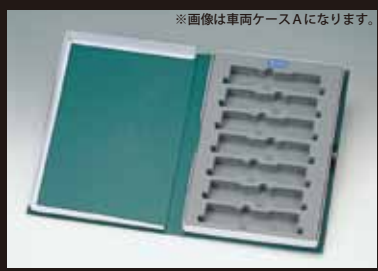
23-245B ¥3,600+税  
高原の駅舎 ヨーロピアン  
山小屋風の木造駅舎。ローカル線の風景にもよく合います。



23-059 ¥450+税  
単線架線柱  
(16本入)  
電車の走る路線には欠かせないアイテムです。

レイアウトを充実させて  
運転を楽しもう。

集めたコレクションを  
美しく収納。



※画像は車両ケースAになります。

- 10-210 車両ケースA (電・気動・客車7両用) ¥1,600+税
- 10-212 車両ケースC (電・気動・客車4両用) ¥1,300+税
- 10-214 車両ケースE (電・気動・客車8両用) ¥1,600+税



10-1471  
メープルレッド  
10-1472  
メープルオレンジ



叡山電鉄 900 形「きらら」2両セット 各¥8,200+税  
京都の町と山を結ぶ私鉄。「きらら」は2両編成で京都の町中と、比叡山、鞍馬山などの歴史の舞台を結ぶ。町の中心部から段々と郊外へ抜けていき、線路も途中で複線から単線へと変わるなど、風景が変化していく様子を楽しめる。沿線には桜や紅葉を楽しめるスポットも点在し、地域輸送のほか観光客も多く利用する。町中を走るシーン、山間を走るシーンいずれでも楽しめる車両。